

稲作情報 第1号

令和6年2月25日

黒部市
黒部市農業技術会議

今年も安全・安心で高品質・良食味な「黒部米」の生産に取り組もう！

1 春の土づくり 【米づくりノート P1、P20～22 参照】

●土壌改良資材及び有機物の施用

土づくりは単年度での効果がわかりにくい、病害虫や雑草の防除と比べるとついつい後回しになりがちです。土壌改良資材を昨秋に散布しなかった場合は耕起前に必ず散布するとともに、有機物の施用に努めましょう。

【主な土壌改良資材と施用量の目安】

資材名	10a当たり施用量	効果
粒状ケイカル	200kg	ケイ酸補給、酸度矯正
シリカロマン	100kg	ケイ酸・リン酸補給、酸度矯正
シンキョーライトP	60kg	ケイ酸・カリ補給、保肥力向上
アサヒニューテツ	100kg	鉄分・ケイ酸補給、秋落ち防止
発酵鶏ふん※	75～100kg	リン酸・カリ補給、秋落ち防止

※連用田や地力の高いほ場は、基肥量を減量しましょう。

土壌分析結果では、ケイ酸やカリ、腐植が目標値を下回っているほ場が目立ちます。
ケイ酸の少ない稲は、R5年のような高温・少雨が続くと、蒸散を抑えるため気孔が閉じて
光合成能力が低下し、生育が停滞します。

光合成低下 ← 気孔が閉じる



気孔が開く → 光合成維持

●深耕による作土層の拡大

耕起は、作土の深さ15cm以上を目標(現状より3cm 深く)に、トラクタの速度を落としてゆっくりと行いましょう。作土層を深くすることで根の伸長を促し、気温や水分の変化を受けにくい稲体にしましょう。

始業前の点検方法や速度等の設定は
お持ちの取扱説明書を確認して下さい。



○土壌改良資材散布に対する助成

・土壌改良対策事業（市とJAが土づくりをサポートしています）

2 農作業安全・農業用水路への転落防止

近年、トラクタによる農作業事故が多く発生しています。トラクタを含めた農作業機械による事故を未然に防止するために、以下の対策を行いましょう。

また、春作業の始まりとともに、農業用水路への水量も多くなりますので、転落しないよう注意して下さい。

●農作業事故の未然防止対策

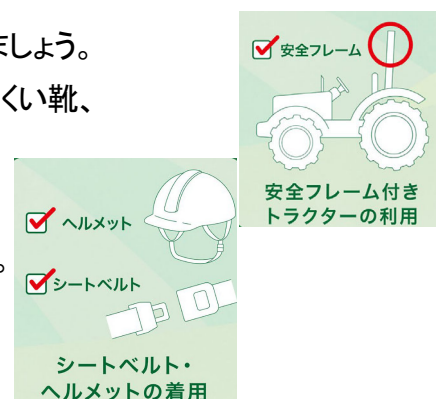
- ・農場等の危険箇所を事前に把握し、目印を設置しましょう。
- ・時間や人数に余裕をもった作業計画を立て、複数人による組み作業心がけましょう。
- ・各作業に応じた服装、保護具を着用しましょう。
- ・機械等の使用前に、正しい使用方法を作業者全員に周知しましょう。



(例) 転落の危険性を警告する看板設置

●トラクタ使用時の注意事項

- ・転倒転落を防ぐため、危険箇所での減速や路肩の補強などを行いましょう。
- ・トラクタ作業の際は、引っ掛かりや巻き込まれにくい服装をし、滑りにくい靴、ヘルメットを装着しましょう。
- ・安全フレームとシートベルトはセットで使用しましょう。
- ・作業機取替、点検修理中、つまり除去時はエンジンを停止しましょう。
- ・乗降時は場所を確認し、両手で支えましょう。



●ほ場や周辺施設の点検・整備

令和6年1月1日に発生した能登地震により黒部市内では震度5弱が観測されました。

幸いにも日常生活に甚大な影響が出るほどの被害は見られませんでした。本格的な水稻作業の前に、早めに水田や周辺施設の点検・整備を行いましょう。

点検はできるだけ複数人による組み作業とし、危険箇所では安全対策を徹底しましょう。

万が一、地震の影響による農地等の被害を発見された場合は、下記関係機関にお知らせ下さい。

新川農林振興施センター魚津黒部班	TEL 5 2-0 9 4 5
土地改良区	TEL 5 2-0 2 6 2
黒部市農業水産課	TEL 5 4-2 6 0 3
黒部市農協営農指導課	TEL 5 2-5 6 1 5